



こやま ひろなるが  
小山 浩永 医師

出身大学 東海大学卒

- ・日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科認定臨床医・専門医・指導医
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定医
- ・身体障害者福祉法第15条指定医
- ・肢体不自由身体障害者手帳認定医
- ・音声言語咀嚼嚥下障害者手帳認定医
- ・日本義肢装具学会 義肢装具専門医
- ・義肢装具等適合判定医

外来担当表

曜日	月曜日	水曜日	金曜日
外来	岡島 康友	金子 雅俊	藤井 智恵子

※外来診療には諸要件があります。  
ご受診のご相談やご質問は相談窓口までご連絡ください。

Information

【交通アクセス】

〒194-0202  
東京都町田市下小山田町1491

■多摩センター駅から

- ・無料送迎バス：所要時間 約10分
- ・京王バス：所要時間 約20分  
11番乗り場 多43 多45  
下車：多摩丘陵病院

■町田駅から

- ・神奈中バス：所要時間 約25分  
町田バスセンター 14番乗り場  
町31系統 終点下車

■東名高速  
横浜・町田J.Cより 約35分

■中央高速  
国立・府中J.Cより 約25分

■小田急多摩センター駅  
・タクシー乗り場



【病院概要】

診療科目 リハビリテーション科  
訓練時間 毎日(土日・祝日含む) 8:50~16:30  
※治療時間中の各訓練見学は可能です。  
病床数 117床

【入院相談について】

リハビリテーション目的での入院希望の方には予約制での入院相談を行っています。

【入院相談窓口】

医療福祉相談室  
042-797-1214

問合せ

042-797-1701 (代表)

【ホームページ】

<https://www.tamakyuryo.or.jp/rehabilitation/>

【外来リハ、通所リハ、訪問リハの相談窓口】

リハビリテーション技術部 中澤幹夫  
TEL 042-797-1701 (大代表)



発行：幸隆会 広報委員会

生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します

たまきゆうりハ便り

2024.4

多摩丘陵リハビリテーション病院広報紙 第2号

TOPICS 1 就任のご挨拶

米川甫院長の後任として2024年4月1日より多摩丘陵リハビリテーション病院の院長を務めさせていただきますことになりました。医学部卒業直後からリハビリテーション医学を専門として研鑽を重ね、回復期リハビリテーション病棟、また大学病院を含め一般病院の急性期リハビリテーションに関わってまいりました。リハビリテーションの神髄は互いを尊重しあうチーム医療にあるということを信条に、前任地では看護やリハビリテーションを含めたコメディカルの教育にも従事いたしました。よいチーム医療のもとこそ、当法人が掲げる「ぬくもりのある医療」を提供できるものと考えております。

多摩丘陵リハビリテーション病院は1982年に多摩丘陵病院として開院してから長きにわたってリハビリテーションに携わってまいりました。それは医師と看護師、療法士他、多くの病院スタッフが築いた歴史であり、地域の皆さまにご支持いただけたこと、そして地域の病院から多くの患者さまをご紹介いただいた結果でもあります。正しいリハビリテーションは短期間で形作られるものではありません。患者さまに正しく向き合う医療従事者の姿勢と適切なリハビリテーションの実践を基礎に長い伝統が必要になります。だからこそ当法人の財産だと思っております。

リハビリテーションでは患者さまの生活の質 (Quality of Life) をもっとも重視します。それは患者さまご自身の生きがいや人生の満足につながるからです。当院では障害をもった患者さまの生活を第一に、リハビリテーション医療を提供することをモットーといたします。

また、高齢社会において重視される患者さまご家族や生活環境にも焦点をあてさせていただきます。なぜなら障害の重さは環境によって修飾され、ご家族・関係者のご負担も変わるからです。

2023年5月より多摩丘陵リハビリテーション病院はcareを専らとして生まれ変わり、cureを担う新病院の多摩丘陵病院と区分されましたが、リハビリテーションを求める患者さまはcare-cureともに必要とされています。今後も多摩丘陵病院との連携を密にしていまいます。

関係各位におかれましては、これまで同様、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

多摩丘陵リハビリテーション病院 院長 岡島康友



## TOPICS2

# 多摩丘陵リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟のご紹介



脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始めた発症から1~2ヶ月後の状態を回復期といえます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行なうことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟と言います。多摩丘陵リハビリテーション病院は、脳卒中・頭部外傷・廃用症候群・下肢手術後・脊椎脊髄手術等の急性期の治療を終えた方々を急性期病棟から早期に受け入れ、入院による集中的なリハビリテーションを行っています。また、医学的リハビリテーションが終了し、退院した後も住み慣れた地域でスムーズに社会生活を送ることができるよう退院支援にも力を入れており、退院後の患者さまにも必要なリハビリテーションが継続できるように、外来リハビリテーション、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションを実施しています。



職員配置(3病棟, 117床)  
2024年4月現在

- 医師：5名
- 看護師：55名
- 介護福祉士：16名
- 理学療法士：42名
- 作業療法士：39名
- 言語聴覚士：12名
- 医療ソーシャルワーカー：7名
- 薬剤師：3名
- 管理栄養士
- 訪問リハ
- 通所リハ
- 事務員

### 医療機関としての資格・認定他

- ◆ 日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科認定臨床医 4名
  - ◆ 日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医 4名
  - ◆ 日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科指導医 3名
  - ◆ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定医 1名
  - ◆ 身体障害者福祉法第15条指定医 4名
  - ◆ 肢体不自由身体障害者手帳認定医 4名
  - ◆ 音声言語咀嚼嚥下障害者手帳認定医 2名
  - ◆ 日本義肢装具学会 義肢装具専門医 1名
  - ◆ 義肢装具等適合判定医 3名
  - ◆ 専門作業療法士 1名
  - ◆ 認定作業療法士 2名
  - ◆ 認定理学療法士 4名
  - ◆ 回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストマネジャー 4名
  - ◆ 介護支援専門員 4名
  - ◆ 3学会合同呼吸療法認定士 2名
- その他認定資格有者数を列記

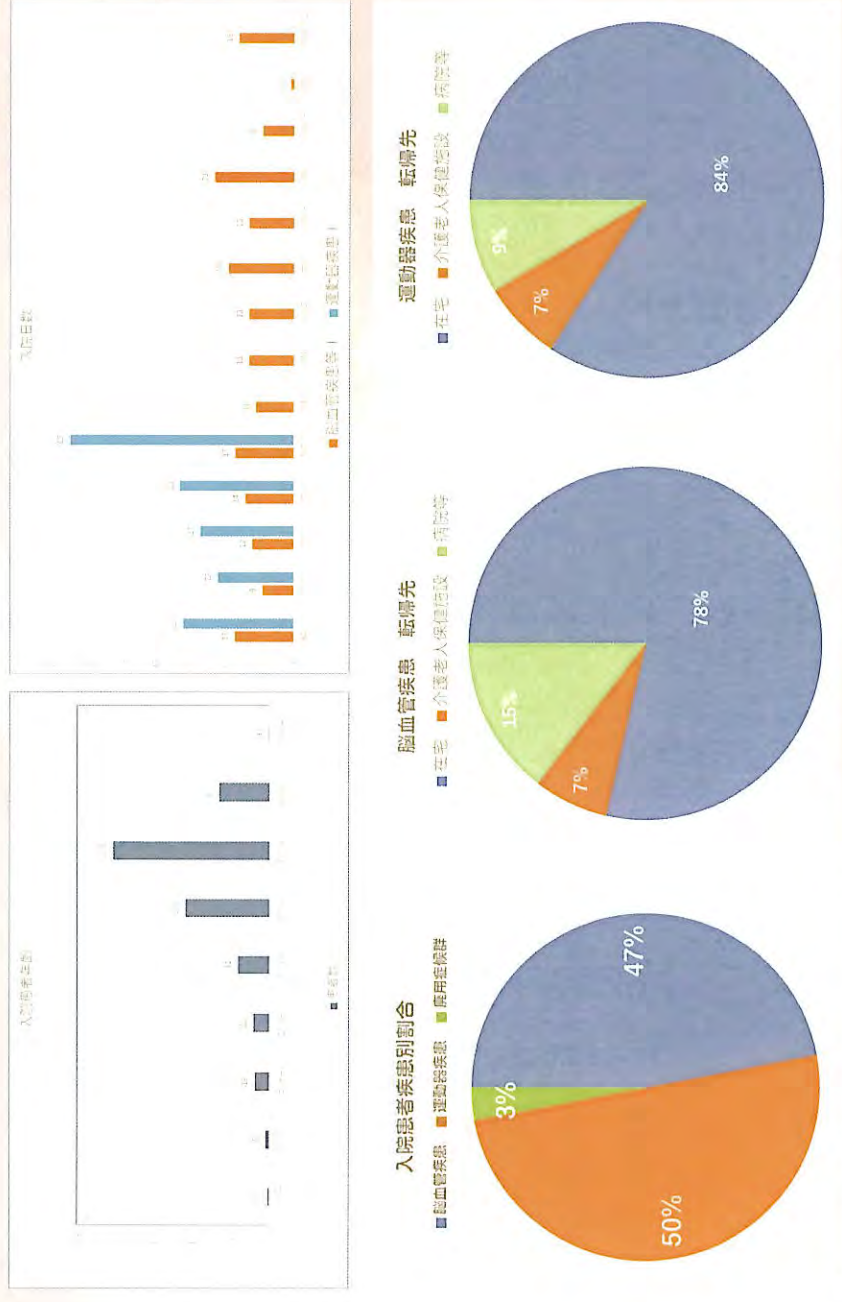


### 四季折々の様々なイベントやレクリエーション



## TOPICS3

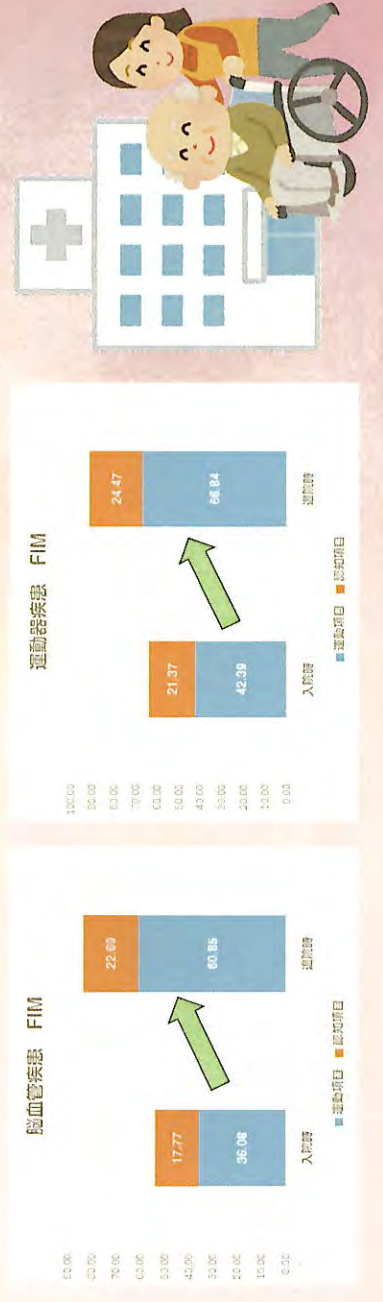
# 回復期リハビリテーション2023年度実績 クリニカルインディケーター



### リハビリテーション効果 (入院時 → 退院時 FIM：機能的自立度評価)



**当院の特徴**  
リハビリテーション科専門医をはじめ、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー等の専門職種を多数配置し、多職種連携により、お一人おひとりに合った最適なリハビリテーションを提供します。



## TOPICS5 行事食のご紹介

3月3日  
ひなまつり行事食



献立：ちらし寿司、旬時雨煮、すまし汁（あさり、菜の花、柚子）、桃ムース

ひな祭りの行事食を行いました。  
縁起が良いと言われているちらし寿司をメインとし、春の食材の筍や菜の花を取り入れました。すまし汁にはハマグリにアサリを入れました。

桃の節句にちなみ、デザートには手作りの桃ムースを付けました。患者様にも好評でした。



## TOPICS6

### 豆まきイベントを実施しました



#### ■2024年2月2日「豆まきイベント」を実施しました

今年一年間の無病息災を願い、豆まきイベントを実施しました。鬼に扮した職員が各病棟に出現すると、患者さまが「鬼は外」「福は内」の掛け声と共にカラーボールを投げ、鬼退治を行いました。鬼退治と同時に溢れた笑顔は、多摩丘陵リハビリテーション病院に大きな福を運んでくれました。

当院の各種イベントは患者さまの回復促進に繋がる活動として、希望と元気を与える役割を担っています。



## TOPICS7 アートミュージアムを開催しました

多摩丘陵リハビリテーション病院  
アートミュージアム

多摩丘陵リハビリテーション病院正面玄関ホールにおいて、アートミュージアム開催中です。  
多摩市在住のデジタル水彩画アーティスト、田端道子さまの作品が掲示されています。  
職員有志により彩られた装飾や植物と共に、癒しの音楽がご来院の皆さまをお迎えしています！

### 作品紹介



### 田端 道子 様 プロフィール

1941年 中国湖北省生まれ、熊本県人吉市で育つ。  
小さいころから絵に親しみ油絵、水彩画を描く  
武蔵野美術短大通信科卒業  
都内公立中学校で美術教師を歴任  
水彩画を描くかたわら、「水彩ソフト」でパソコン画を習得。  
以来パソコン画制作に没頭。「水彩パソコン画のデキモノ」を編纂。  
1997年と共に関東圏の日本郵政館としては初の中国  
（北京）開館演劇、多ジキスタン、ロシア（ワグネル）の公式を  
歴任。それらの外国生活の風物を題材にパソコン画500点余を描く  
多摩市在住。多摩市の風物水彩画（パソコン画）を描きながら、絵画、  
ウクレレ、団体の理事など多忙な活動を続けている。  
ホームページ：道子とKのギャラリー  
<http://www06a.biglobe.ne.jp/~handaw/>

